景　気

大阪府景気観測調査結果

平成２６年４～６月期

 《 詳細は大阪府ホームページに掲載しています。<http://www.pref.osaka.lg.jp/aid/sangyou/keikikansoku.html>　》

　商工労働部（大阪産業経済リサーチセンター）では、府内企業を対象として四半期毎に、大阪市と協力して景気観測調査を実施しております。平成26年４～６月期の調査結果の概要は次のとおりです。

**［景気は、一時的に悪化するも、回復基調が続く］**

１．業況判断ＤＩは、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動減から、業種・規模を問わず東日本大震災直後（23年４～６月期）以来の大幅な悪化となり、回復基調が鈍化した。

　業況判断ＤＩの推移（前期比、季節調整済、製造業・非製造業別）

　業況判断ＤＩの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）

景　気

図２　業況判断ＤＩの推移（前期比、季節調整済、大企業・中小企業別）

２．主な項目のＤＩをみると、出荷・売上高、営業利益水準が大幅に落ち込み、営業利益判断も大企業や非製造業を中心にマイナス幅が拡大し、全体の回復の動きに一服感がみられた。ただし、資金繰りが改善したほか、雇用面でも製造業の不足感が顕著で、来期も製造業で雇用増の勢いが強まっている。なお、来期の業況は、反動減からの急激な回復が見込まれており、ＤＩのマイナス幅は大幅に縮小する見通しである。

主な項目のＤＩ

３．26年７～９月期の業況ＤＩは、大企業・非製造業を中心に大きく改善し、ＤＩはＶ字回復の見込み。

業況判断ＤＩの推移（来期見通し）

